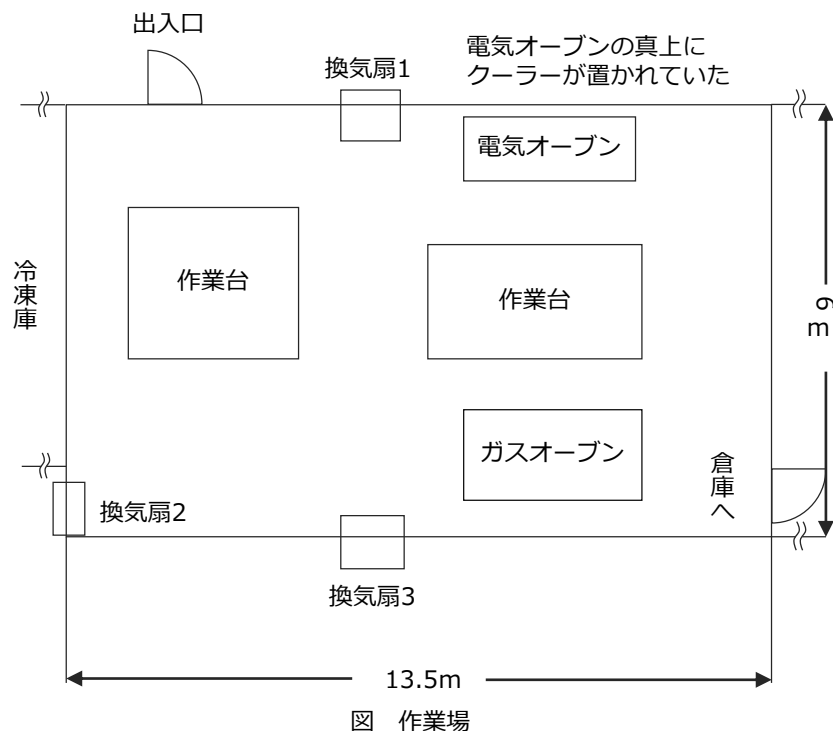


ガスオーブンの不完全燃焼で一酸化炭素中毒



【発生場所】

和洋菓子製造工場のガスオーブンのある作業場。

【被災原因】

燃焼ガス（LPガス）を燃焼後に排出するダクトが設置されていないガスオーブンを使用。換気扇を回さず、窓や出入口も入退出時以外閉めきって作業中に、ガスオーブンから発生した一酸化炭素にばく露。

【被災状況】

作業者が頭痛、吐き気など体の不調を訴えたため、病院に駆け込んだところ、一酸化炭素中毒と判明。症状の重かった作業者が休業1日。

【対策】からの抜粋

[1] ガスオーブンを使用する際は、ガスオーブンの排気装置を使用して～中略～屋内に一酸化炭素が滞留しないようにすること。なお、排気装置と～中略～一酸化炭素が屋内に充満する事態を招くことがあるため、注意する必要がある。



～理研計器からのご提案～

一酸化炭素は無味無臭のガスです。

ガスの発生や滞留の有無を確認するため、作業環境のガス濃度の測定をお勧めいたします。